

- (1)「地域連携クリティカルパス 熊本脳卒中地域連携(K-STREM)の取組」
橋本 洋一郎(熊本市立熊本市市民病院首席診療部長)
- (2)「大腿骨頸部骨折地域連携クリティカルパスネットワーク構築で得られたもの」
伊藤淳二(青森県立中央病院整形外科部長)
- (3)「がんの地域連携クリティカルパスの役割とは？」
藤也寸志(国立病院機構九州がんセンター院長)
- (4)「糖尿病の地域連携クリティカルパスで得られたもの」
宇治原誠(国立病院機構横浜医療センター副院長)
7. 医療安全を感染対策の視点から考える(仮)
座長：賀来満夫(東北医科薬科大学医学部感染症学教室特任教授/東北大学名誉教授)
磯部 宏(KKR札幌医療センター院長)
- (1)「医療安全の動向(仮)」
諸富伸夫(厚生労働省医政局総務課医療安全推進室室長)
- (2)「医療現場における新型コロナウイルス感染症対策」
坂本史衣(聖路加国際病院QIセンター感染管理室マネジャー)
- (3)「未定」
永井仁美(大阪府富田林保健所所長)
- (4)「地域における感染対策の視点(仮)」
中西重清(中西内科院長)
- (5)「現場対応の目的から見た検査のあり方」
関谷紀貴(がん・感染症センター東京都立駒込病院感染制御科医長)
8. IoT・ビッグデータ・AI時代の医療と介護
座長：神野正博(社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院理事長)
小林美亜(静岡大学創造科学技術大学院特任教授)
- (1)「高度情報技術が実装されたヘルスケア環境における意思決定と医療専門職の役割」
尾藤誠司(国立病院機構東京医療センター臨床疫学研究室室長)
- (2)「AI・データサイエンスで拓く次世代の医療」
川上英良(千葉大学大学院医学研究院人工知能(AI)医学教授)
- (3)「NDBを活用して医療を可視化する」
吉村健佑(千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センターセンター長・特任教授)
- (4)「看護・介護におけるIoT・AIの活用」
小林美亜(静岡大学創造科学技術大学院特任教授)
9. タスクシフティングはどこまで進んだか(仮)
座長：武藤正樹(社会福祉法人日本医療伝道会衣笠病院グループ相談役/よこすか地域包括ケア推進センターセンター長)
新木一弘(国立病院機構東京医療センター院長)
- (1)「NTT東日本関東病院における医師の働き方改革について」
亀山周二(NTT東日本関東病院院長)
- (2)「Win-win-winの働き方改革となるために」
秋山智弥(公益社団法人日本看護協会副会長)
- (3)「医療機関におけるタスクシフティングのすすめ方(仮)」
斐 英洙(ハイズ株式会社代表取締役社長)
- (4)「働き方改革における事務部門の役割」
中山和則(筑波メディカルセンター病院事務部長)
- (5)「医師の働き方改革～医療関係者に求められる変化～」
馬場武彦(社会医療法人ペガサス馬場記念病院理事長)
10. 臨床スタッフの負担を軽減するーポリファーマシー多職種による対策・連携ー
座長：折井孝男(NTT東日本関東病院 Senior pharmacist)
- (1)「医薬品安全対策 行政の視点から(仮)」
厚生労働省
- (2)「入院中の減薬とかかりつけ薬剤師との連携ーヘルスITと連携の力でポリファーマシーに立ち向かうー」
高柳和伸(公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院薬剤部長)
- (3)「多職種による患者情報の共有化と処方適正化(仮)」
村岡修子(NTT東日本関東病院看護部看護長)
- (4)「生活を取りもどす薬の管理ー多職種連携のカー」
稲川利光(原宿リハビリテーション病院筆頭副院長)
11. これからの医療・介護領域を見据えた経営面からの栄養マネジメント～栄養管理情報の連携と栄養マネジメントが日本を救う～
座長：若林秀隆(東京女子医科大学病院リハビリテーション科教授・診療部長)
幣憲一郎(京都大学医学部附属病院疾患栄養治療部副部長)
- (1)「集学的栄養治療で患者を救う・日本を救う」
山中英治(社会医療法人若弘会若草第一病院院長)